

「天気予報」

テーマ「天気予報はどれくらい当たるのだろうか？」

観察や実験のやり方

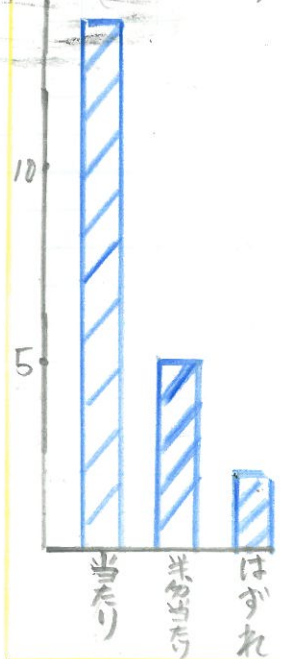
- 例えば8月1日の天気予報が当たっているかを調べる時は、7月31日の夕かを見、次の日の福岡の天気予報を見る。
- 例えば①のち②の予報で実際が①のち②だったら当たり①か②なら半分当たり、③だったらはずれとね。
- これを3週間続ける。

気象台のベテラン予報官田中さんの話
 ・「今は80%くらい当たるが昔は70%くらいだった。年がたつと少しずつかわりつつ上がる。」
 ・「せまいはん田(ちか雨など)は当てにく、広いはん田(台風など)は当てやすい。台風は90%くらい当たる。」
 ・「どうすいかとリフ50%以上は雨のマークが付いていて、50%未満の40%や30%は雨のマークはついていないが雨がふりやすい。」

観察や実験の結果

- 21日(3週間)中14回は当たり、5回は半分当たり、2回ははずれでした。

(a) グラフ (何日あたり)



くわしいことの表

月日	結果	月日	結果	月日	結果
7月24日	当たり	8月1日	当たり	8月9日	当たり
7月25日	当たり	8月2日	当たり	8月10日	はずれ
7月26日	半分当たり	8月3日	当たり	8月11日	当たり
7月27日	当たり	8月4日	半分当たり	8月17日	当たり
7月28日	半分当たり	8月5日	当たり	8月18日	はずれ
7月29日	半分当たり	8月6日	当たり		
7月30日	当たり	8月7日	半分当たり		
7月31日	当たり	8月8日	当たり		

まとめ

結果から半分当たりもふくめて天気予報は90%くらい当たることが分かりました。その原因はコンピュータの精度が高いからと考える。すると1ヶ月以上の予報がどれくらい当たるかが新たなテーマになる。